

学校を支え、変える『児童会』

ぼくは、三原市立沼北小学校の児童会長をしています。沼北小学校には、「かしこく やさしく たくましく」という三つの柱の校訓があります。また、「目指せ一流 きらりと光る沼北っ子」というのを目指しています。

授業中は「ビタ・ピン・グウの姿勢（かかと・つまさき・指先の姿勢）」をするように心がけています。他にも「レベル五のあいさつ」や「だまってすみずみまで時間いっぱいこのそうじ」という取り組みがあります。

今年からは、縦割り班活動が始まり、遠足の全校ゲームでは、児童会役員が「猛獣狩り」「増えおに」の説明や司会をしました。他にも、日曜参観日のPTA行事で「猛獣狩り」の司会をするなど、いろいろがんばっています。

また、児童会目標では、時期に合わせたり、みんなができていないことを見つけて目標にしたりするように工夫しています。例えば、四月「一年生の顔を覚える」、五月「ろうかの右側を静かに歩く」というようにです。

このような活動をして変わってきた事は、学年間の距離が縮まってきたことと、みんなの元気が良くなったことと、ルールなどの決めたことをちゃんと守れていることです。

このようになったことで、休憩時間や学校が終わってからいろいろな学年で一緒に遊んだり、物を大切にすることが増えてきたりしたので、とてもうれしいです。

ぼくが卒業するまでには、みんな仲良しで一人ぼっちになっっている子がいなくて、児童会だけではなく、全員がこの学校を引っ張っていけるような仲間になってほしいです。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第30回 —

ぼくの学校のほこり

ぼくが通っている南小学校は、三原でただ一つの芝生がある学校です。芝生のおかげで、はだして走っても痛くないし、転んでもけがをしません。五月の運動会でも、はだして力いっぱい演技することができました。

その芝生を生かして、南小学校では「みなみんタイム」という時間を設けています。みなみんとは、児童が考えた南小学校のマスコットキャラクターです。PTAの方々のご協力もあり、LINEスタンプにもなっています。

みなみんタイムは、毎週火・金曜日の昼休みに全校児童がはだして外に出て遊ぶ時間です。この時間ではフリスビーを投げて遊んだり、芝生で寝転んだり、芝生を生かした様々な遊びをしています。芝生の運動場だからこそできることで、南小の自慢です。

その芝生がいつもきれいなのは、地域の住民の方々のおかげです。南小では、毎月地域の方々もいっしょに、芝をたっぷりひ料をやったりしています。

その地域のみなさんと、五・六年生は毎月一回、グラウンドゴルフをしています。ボールが真つ直ぐに進むような打ち方や正しいルールを、いねいに教えて下さり、一年間ですごく上達しました。芝生がのび放題だと、ボールは思ったように転がりません。ていねいにかられた芝生でどんどん技がみがかれ、毎年グラウンドゴルフ大会も開かれています。

南小が今の場所に移転したと同時に、芝生も植えられました。ぼくたち児童、家族、そして地域の方々や市長さんたちと一株ずついねいに植えた宝物です。芝植えの経験を下級生に伝えるとともに、ぼくたちも地域住民の一人として、卒業した後も芝生を守っていききたいです。

